令和７年度
愛知県栄養教諭研究協議会

要　覧

Ⅰ　協　議　会　の　紹　介

目的

学校における食育を推進する栄養教諭及び学校栄養職員の資質向上を図る。

会長あいさつ

本協議会の会員は、愛知県内の小中学校、特別支援学校、夜間定時制高等学校などに勤務する、２７６名の栄養教諭・学校栄養職員です。それぞれの職場において、日々、学校給食の充実と食育の推進に努めています。

児童生徒が望ましい食習慣を身に付けることは、健康な心身を育み、将来にわたって健全な食生活を実践するために欠かせません。そのため、栄養教諭には、学校の教育活動全体で食育に組織的に取り組む「マネジメント力」や、教職員及び家庭・地域とさまざまな場面で連携して食に関する指導を進める「コーディネート力」を高めていくことが求められています。

平成１７年４月に施行した栄養教諭制度は、２０年が経過しました。愛知県でも平成１８年度に１０名の栄養教諭が誕生し、現在は２６７名が配置されています。令和５年７月には文部科学省より、栄養教諭がその専門性を発揮し、本来の職務に集中できるように、「栄養教諭の標準的な職務の内容及びその例」が示されました。さらに、今年４月「栄養教諭等による食に関する指導等の充実について（通知）」が発出され、栄養教諭等が行う食に関する指導について整理されました。食に関する指導については、栄養教諭の校務分掌を定めた上で、他の教職員等と連携し、給食の時間や各教科等において積極的に指導に関わることが求められるなど、栄養教諭は食に関する指導における中心的な役割を担う教員として更なる活躍が期待されています。併せて、他の教諭と同様に学校の運営管理に関する事項を校務分掌として担当することも期待され、学校に勤務する教員としての職責を果たす必要があります。

子どもたちの将来にわたる心身の健康の一助となるため、栄養教諭が食に関する指導と学校給食の管理という職務を十分に果たすとともに、学校において食に関する指導の中心的な役割を担うことができるよう、更なる資質能力の向上や業務効率化に努めるよう取り組んでまいります。

昭和５０年４月に「愛知県学校栄養職員研究協議会」として発足した本協議会は、今年度、設立５０周年という節目の年を迎えます。これまで支えて下さったすべての皆様に感謝するとともに、関係機関の皆様には、今後とも引き続き、ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会長　　毛利　敦子

活動目標

「食を通して育てよう、未来を担う愛知の子どもたち！」

基本方針

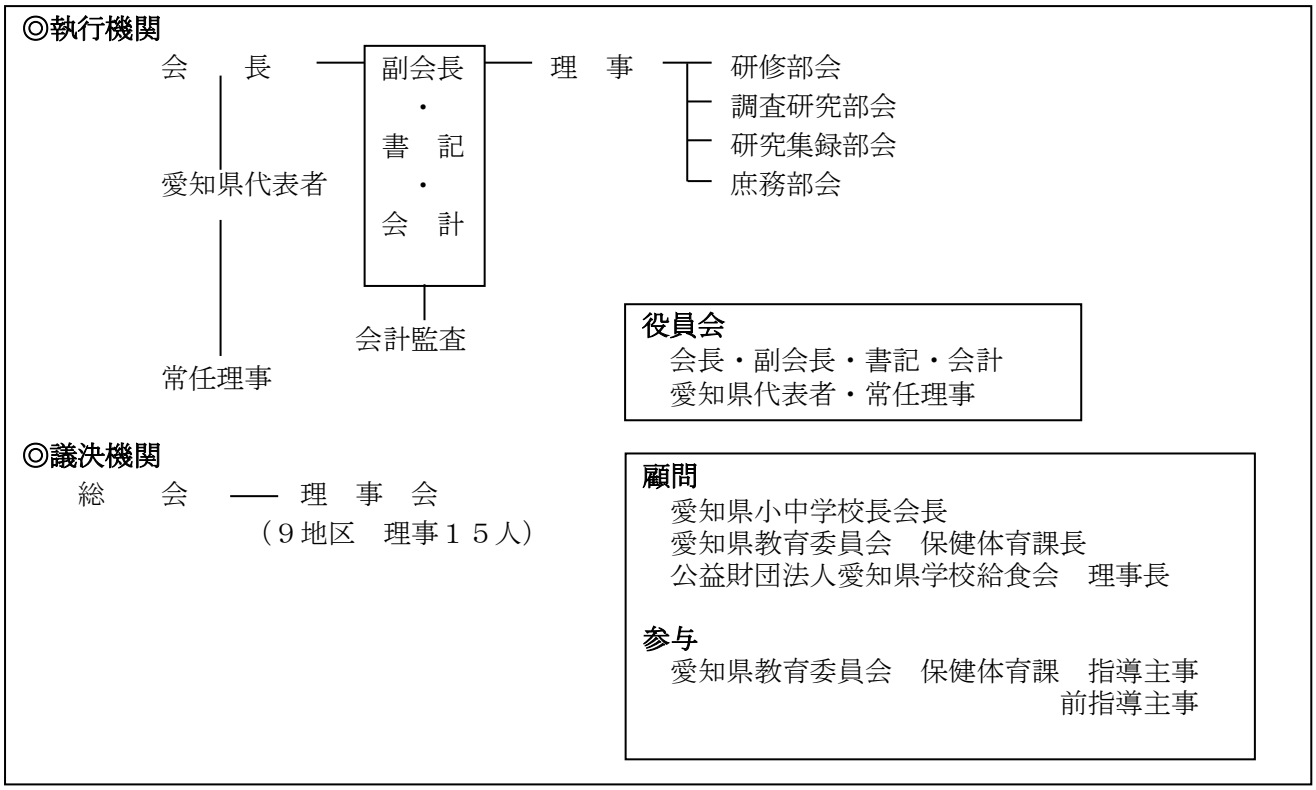
近年の食を取り巻く環境の変化により、子どもたちの食に関わる課題は多様化・複雑化している。偏った栄養摂取や不規則な食事などの食生活の乱れ、肥満や過度のやせ、食物アレルギー疾患など食に関する健康課題のある子どもたちは増加傾向にあり、今後の子どもたちの健全な成長に影響を及ぼすことが危惧される。

このような中、生きる力の基盤となる食を通して、次世代を担う子どもたちの望ましい食習慣の形成と生涯にわたる健康の保持増進、ならびに豊かな人間性を育むため、栄養教諭等として専門性を発揮し、学校における食育の充実と一層の推進を図ることが大切である。

そのためには、「あいち食育いきいきプラン２０２５～第４次愛知県食育推進計画～」や令和６年４月より適用された「健康日本２１（第三次）」を踏まえ、学校教育活動において子どもの実態や地域の状況に沿った食育を計画的・継続的に推進するとともに、「養護教諭及び栄養教諭の資質能力の向上に関する調査研究協力者会議」（文部科学省）の議論を受けて、研究や研修等を充実させることが重要である。

子どもたちの健やかな成長のために、栄養教諭等の専門性を高め、学校における食育の中核的な役割を担う教育職員としての資質向上を図る。

Ⅱ　研　究　会　組　織　図



※常任理事（公益社団法人全国学校栄養士協議会　理事）
　愛知県代表者（公益社団法人全国学校栄養士協議会　愛知県代表者）

愛知県栄養教諭研究協議会　会則（抜粋）

（本部）

第２条　本会の本部は、会長在任所属に置く。

（目的）

第３条　学校における食育を推進する栄養教諭及び学校栄養職員の資質向上を図る。

（組織）

第４条　本会の会員は、愛知県内の栄養教諭・学校栄養職員等とする。

（事業）

第５条　本会は、第３条の目的を達成するため、次のことを行う。

(1)　学校における食育の推進と学校給食の充実向上に関する調査研究に関すること。
(2)　会員の研修その他資質の向上に関すること。
(3)　愛知県教育委員会その他関係団体との連携に関すること。
(4)　会員の社会的地位の向上と職務の確立に関すること。
(5)　その他目的を達成するために必要なこと。

Ⅲ　協議会の事業

事業内容	令和５年度	令和６年度	令和７年度
研修会及び総会の開催	５月２４日(水) 総会（出席２６０名・委任状２０名） ≪研修会≫ 講演 「これからの栄養教諭の在り方」 愛知県教育委員会　保健体育課 指導主事　小田　敦子氏	５月２２日（水） 総会（出席２４９名・委任状３２名） ≪研修会≫ 講演 「ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）」 愛知県政策企画局企画調整部 企画課　加藤　健太氏	５月３０日（金） 総会（出席２３１名・委任状３９名） ≪研修会≫ 講演 「実践活動を見える化する！実践活動報告と実践研究」 名古屋学芸大学管理栄養学部管理栄養学科兼大学院栄養科学研究科 教授・学科長　塚原　丘美氏
研究大会の開催	８月２３日(水) 愛知県教育委員会 (公財)愛知県学校給食会 の後援で開催 （出席２６２名） ・地区別研究発表（２題） 指導講評　愛知県教育委員会 保健体育課　主査　天野万喜男氏 ・教育講演会 「栄養教諭のキャリア発達 - チーム学校での専門性発揮のために - 」 愛知みずほ大学　人間科学部心身健康科学科 准教授　後藤　多知子氏	８月２０日（火） 愛知県教育委員会 (公財)愛知県学校給食会 の後援で開催 （出席２４９名） ・地区別研究発表（２題） 指導助言 中島地区（一宮） 瀬戸市立にじの丘小学校　栄養教諭　杉野由起子氏、東浦町立北部中学校　栄養教諭　小田敦子氏 豊田みよし地区（豊田） 西尾市立鶴城小学校　栄養教諭丸山真奈美氏、愛知県教育委員会保健体育課指導主事　平林加奈氏	８月２５日（月） 愛知県教育委員会 (公財)愛知県学校給食会 の後援で開催 （出席　　名） ・地区別研究発表（２題） 指導助言 愛日中部地区（瀬戸） 西三河地区（岡崎）
調査研究	《県内研究》 ・「あいち食育いきいきプラン２０２５」に沿った研究 ・学校給食及び食育の今日的課題について県内で調査研究 ・衛生管理面を配慮した献立の工夫 研究授業方式による衛生管理の研究	《県内研究》 ・「あいち食育いきいきプラン２０２５」に沿った研究 ・学校給食及び食育の今日的課題について県内で調査研究 ・衛生管理面を配慮した献立の工夫 研究授業方式による衛生管理の研究	《県内研究》 ・「あいち食育いきいきプラン２０２５」に沿った研究 ・学校給食及び食育の今日的課題について県内で調査研究 ・衛生管理面を配慮した献立の工夫 研究授業方式による衛生管理の研究
研究集録の発行	研究集録「はぐくみ」 令和６年３月（第３３号）発行	研究集録「はぐくみ」 令和７年３月（第３４号）発行	研究集録「はぐくみ」 令和８年３月（第３５号）発行予定
機関誌をホームページに掲載	機関誌「みのり」 令和５年１０月２３日（第１０７号） 令和６年　３月１１日（第１０８号） 年２回掲載		

事業内容	令和５年度	令和６年度	令和７年度
自主研修会開催	◎資質能力向上研修会 ・第１回（対面） １２月１７日（日） 参加者　１５３名 「個別的な相談指導をすすめるために」 愛知県教育委員会　保健体育課 指導主事　小田　敦子氏 ・第２回（ハイブリット） ２月１８日（日） 参加者　１８１名 「食物アレルギー対応の基礎基本」「献立作成の基礎基本」「学校給食献立表に関する表記方法」 西尾市立花ノ木小学校 丸山　真奈美氏 「個別的な相談指導の実際」 大治町立大治南小学校 森田　咲紀氏 瀬戸市立にじの丘小学校 （小中一貫校　にじの丘学園） 杉野　由起子氏 「食に関する指導を学び直す」 瀬戸市立にじの丘小学校 （小中一貫校　にじの丘学園） 杉野　由起子氏 ◎地区別研修会　１５回開催 各地区の課題解決に向けた研修 瀬戸市立にじの丘小学校 （小中一貫校　にじの丘学園） 杉野　由起子氏 西尾市立花ノ木小学校 丸山　真奈美氏 ◎栄養教諭経験年数別研修会 栄養教諭少経験者研修会 １２月　３日（日） 中堅栄養教諭資質向上研修【後期】修了者研修会 １１月２３日（木）	◎資質能力向上研修会 ・１日目（対面） ８月２５日（日） 参加者８５名 ・２日目（対面） １０月２７日（日） 参加者７２名 「教科と給食の時間に行う食に関する指導について」 瀬戸市立にじの丘小学校 杉野　由起子氏 ◎地区別研修会１３回開催 各地区の課題解決に向けた研修 瀬戸市立にじの丘小学校 杉野　由起子氏 西尾市立鶴城小学校 丸山　真奈美氏 ◎栄養教諭経験年数別研修会 栄養教諭少経験者研修会 ９月８日（日） 栄養教諭経験者年数別研修会【後期】 １２月２２日（日） 栄養教諭経験者年数別研修会【前期】 １月１９日（日）	◎資質能力向上研修会 月　　日（　） ◎地区別研修会　　回開催 各地区の課題解決に向けた研修 ◎栄養教諭経験年数別研修会 栄養教諭経験１．２年目研修会 月　　日（　） 栄養教諭経験３年～５年目研修会 月　　日（　） 中堅栄養教諭資質向上研修【前期】修了者研修会 月　　日（　） 中堅栄養教諭資質向上研修【後期】修了者研修会 月　　日（　）
栄養指導用教材作成	食に関する指導教材 「ネームホルダー用ストラップ、ご褒美シール」を作成		

事業内容	令和５年度	令和６年度	令和７年度
全国理事会等の参加 （1）公益社団法人全国学校栄養士協議会の参加	東京都・リモートにて２１回	東京都・リモートにて２４回	東京都・リモートにて　回予定
（2）学校給食夏季講習会派遣	第５９回学校給食夏季講習会 ７月２２日～２３日 オンライン形式・動画配信	第６０回学校給食夏季講習会 ７月２０日～２１日 オンライン形式・動画配信	第６１回学校給食夏季講習会 ７月１９日～２０日 オンライン形式・動画配信
（3）全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会等参加	第６４回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会 ８月３日～８月４日 (鳥取県)対面開催	第１回全国学校給食・栄養教諭等研究協議大会 ８月１日～８月２日 (長野県)対面開催	第２回全国学校給食・栄養教諭等研究協議大会 ８月５日～８月６日 (茨城県)対面開催
役員会の開催	１８回開催（リモート開催含む）	１６回開催（リモート開催含む）	回開催予定
理事会及び部会の開催	７回開催 部会 ・研修庶務部会 ・調査研究部会 ・研究集録部会 ・食育推進部会	４回開催 部会 ・研修庶務部会 ・調査研究部会 ・研究集録部会 ・食育推進部会	４回開催予定 部会 ・研修部会 ・調査研究部会 ・研究集録部会 ・庶務部会

Ⅳ　栄養教諭の取組

◎魚のよさに気付き、自ら食べる子の育成

魚料理を活用した指導実践例（一宮市）

【だしに使う煮干しの頭とはらわたを取り除く様子】

給食の残食率を調査したところ、主菜が魚となる和食の献立の残食率が高い傾向にあった。特に、魚料理は平均 12.8%と肉料理の 7.6%より多かった。魚料理のアンケートでは、33.3%の児童が「とても苦手」「どちらかといえば苦手」と回答した。そこで、魚について継続して指導することで「魚料理はおいしい」、「魚は健康につながる」と気付き、自ら食べる子になってほしいという願いをもって実践を進めた。

魚は和食のだしに欠かせないものである。家庭科「食べて元気！ご飯とみそ汁」では、煮干しに触れ、煮干しだしと水のみで作ったみそ汁の飲み比べを行うことにした。だしは素材のよさを引き出す特徴があることに気付くことができた。また、学級活動の時間に肉と魚のあぶらを比較させたところ、魚のあぶらは健康によいことを知り、「がんばって食べたい」という思いをもつことができた。給食の時間には、和食献立の日を中心に魚やだしについての指導を担任と連携をして繰り返し行った。児童の理解度を図るため、和食献立の日にアンケートを実施し、変容を追った。

魚料理の残食率は、徐々に減少傾向となり、実践後には 7.9%となった。「かつおがおいしかったです。」「いわしが好きになりました」など魚料理を自ら食べる姿が多く見られるようになった。

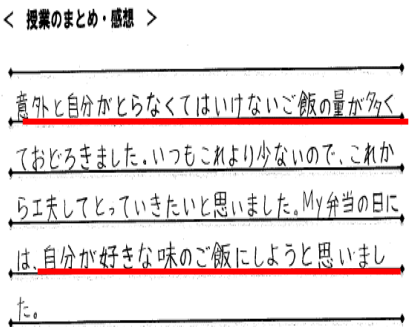
今後も、和食給食を積極的に取り入れ、食育を継続的に推進していきたい。

◎栄養素について考え、自分の食事をコーディネートできる生徒の育成

学校行事「ＭＹ弁当の日」を活用した指導実践例（豊田市）

豊田市食事状況調査から栄養バランスを考えて食べる生徒が 27%と他校より少なく、1 日の食事を考える授業では、夕食と間食に食べきれない量を追加したり、主菜だけが多い献立を組み合わせたりする生徒が見られた。そこで、学校行事である『MY 弁当の日』と関連付けてなりたい自分に近づくための献立作成や調理、他の生徒との意見交換を繰り返し行えば、自分の食事をコーディネートできるようになるのではないかと考えた。

家庭科で中学生の必要な栄養素の特徴を学習した後、「なりたい自分を目指すための食事」に必要な栄養素・食材を調べ、献立を考えた。夏休みに考えた献立の調理を行い、そのレシピをクラスで発表し、意見交換を行った。振り返りでは量について意識ができていなかったという声が多くみられたため、体格や運動量によって必要なエネルギー量が変わることについて学習する機会を設けた。計算ソフトを使い自分の推定エネルギー必要量を求め、活動量に見合うごはんの量を給食の食器で盛りつけて確認した。自分の適量を知ったことで、次の調理実践で量について考えることができた。



＜ 授業のまとめ・感想 ＞

意外と自分がとらなくてはいけないご飯の量が多くておどろきました。いつもこれより少ないので、これから工夫してとっていきたいと思いました。My弁当の日には、自分が好きな味のご飯にしようと思いました。

【生徒Ａのワークシート】

調理実践の前後に工夫した内容の発表と意見交換を行うことで、食事内容の見直し、必要な栄養素や適切な食事量を意識し、自分の食事をコーディネートする力の高まりが見られた。

◎「地場産物を活用しよう」

愛知県の学校給食では、「食を通じて豊かな心を育む」こと「食を通じて環境に優しい暮らしを築く」こと等を目指しており、その施策の一つ「あいち食育いきいきプラン２０２５」では、学校給食で地場産物の活用率45%以上を目標として取り組んでいる。令和６年度は、天候不順、物価高騰の影響を受け、活用率が 36%であった。学校給食で地場産物を活用することは、児童生徒や保護者が地域や地域の産物、食文化への理解を深め、より豊かな食生活を送るための意欲を高める機会となる。愛知県では、６月 19 日の「食育の日」を中心に「愛知を食べる学校給食の日」等の名称で年３回、各学校や共同調理場で地場産物を多く取り入れた献立を実施し、児童生徒や保護者向けに地場産物や地域に伝わる郷土料理・郷土の食文化等を紹介する啓発資料を作成し、指導に役立てている。

地場産物を取り入れた献立の紹介

岡崎市

岡崎市では、「愛知を食べる学校給食の日」に、岡崎市や愛知県産の食材を多く使用した献立を実施した。啓発資料には、給食に使用した地場産物の紹介や、料理について知らせる内容を記載し、児童生徒がこの献立をとおして地場産物に関心をもつ機会とした。

【岡崎市や愛知県の食材を多く使用した献立】

地場産物として、岡崎市産の米、市のブランド豚である「竹千代ポーク」、なす、八丁みそを取り入れた。また、愛知県産のキャベツやアスパラガス、くろむつやあおさ、牛乳を取り入れた。

「岡崎夏のポーク入りスープカレー」は、市内の学校給食メニューコンクール入賞作品で、カレーの中に市内産の竹千代ポーク、なすを入れ、隠し味に八丁みそを使用した。料理を考案した生徒は「みんなが好きなカレーに岡崎市の食材を入れることで、岡崎の食べ物を知ってもらえる」という思いを込めて考えた。

ごはん
牛乳
岡崎夏のポーク入り
　　スープカレー
あおさ入りくろむつフライ
キャベツとアスパラのサラダ

蒲郡市

蒲郡市では、「愛知を食べる学校給食の日」に、蒲郡市や愛知県産の食材を多く使用した献立を実施した。啓発資料には、給食に使用した地場産物の紹介や、「愛知を食べる学校給食の日」について知らせる内容を記載し、この献立をとおして自然の恵みや、生産に関わる人々への感謝の気持ちを育む機会とした。

【蒲郡市や愛知県の食材を多く使用した献立】

地場産物として、蒲郡市産のめひかり、グリーンアスパラガス、みかん果汁を使用したみかんゼリーを取り入れた。また、愛知県産の米、牛乳、豚肉、にんじん、葉ねぎ、みそを取り入れた。

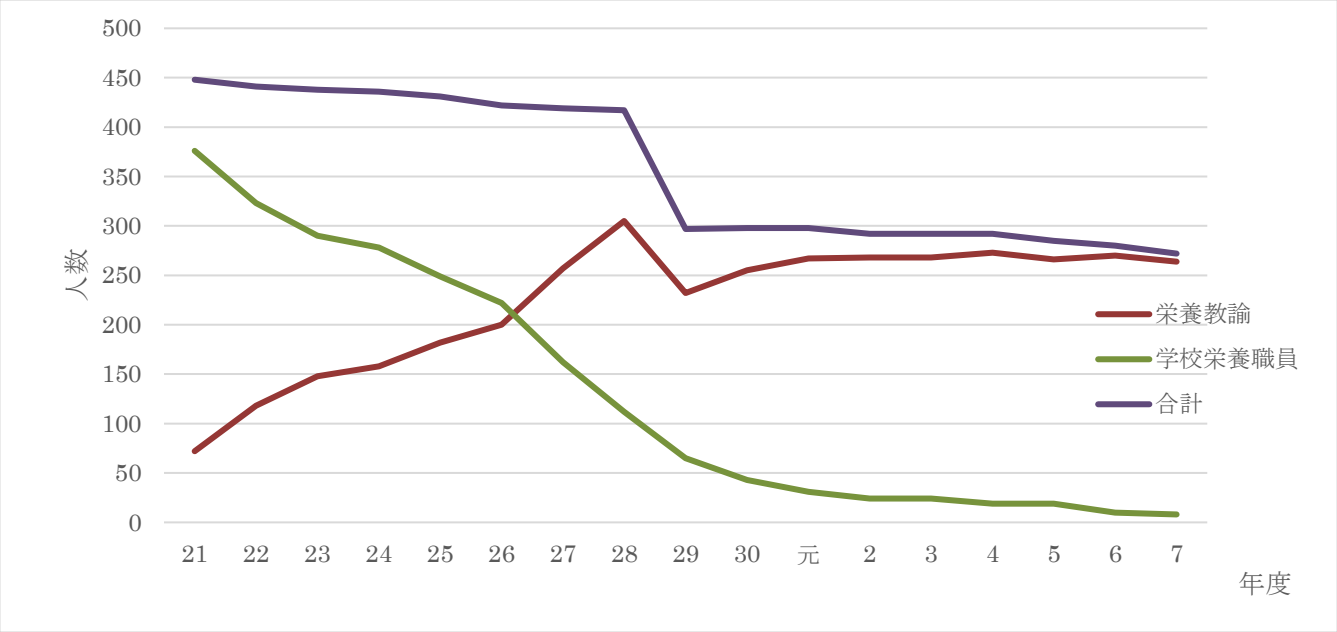
深海魚であるめひかりは、形原漁港で水揚げされたものである。グリーンアスパラガスは、市内の８軒の農家からとれたてを届けてもらった。

ごはん
牛乳
めひかりのフライ
グリーンアスパラガスのサラダ
豚汁
ミニ蒲郡みかんゼリー

「愛知を食べる学校給食の日」に、愛知県でとれた食べ物を学校給食に取り入れ、地元で作られている食べ物について学び、地元の食べ物を身近に感じる日とした。

Ⅴ　栄養教諭・学校栄養職員の配置状況

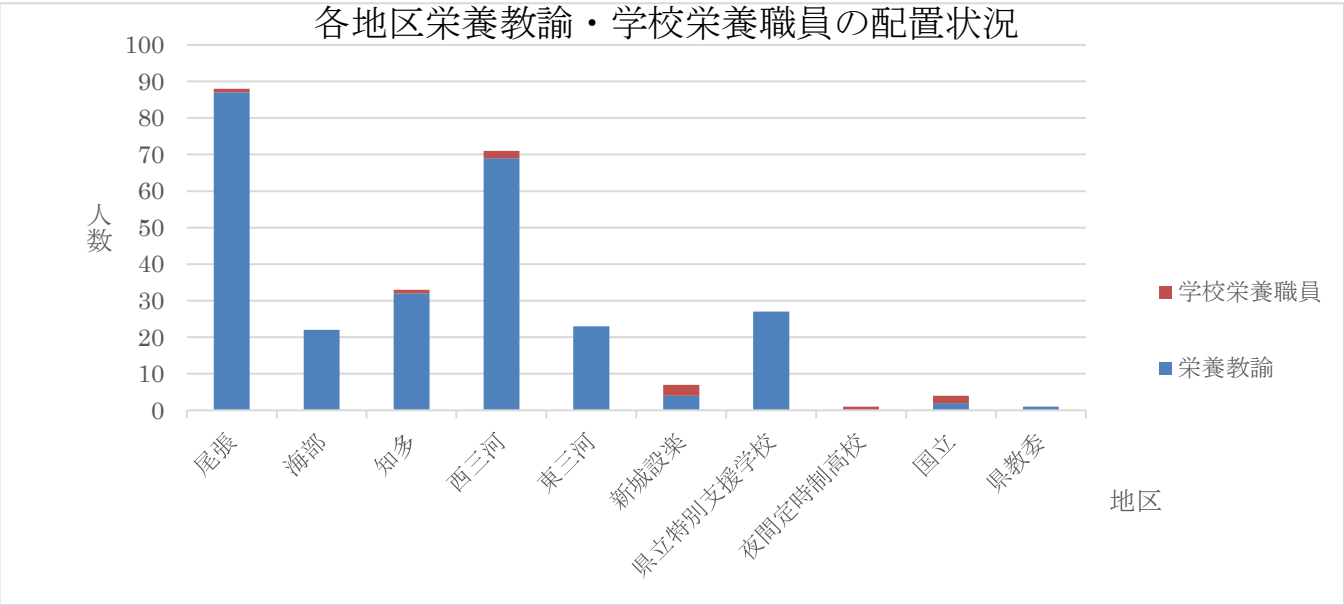
栄養教諭・学校栄養職員の配置数の推移



年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4	5	6	7
栄養教諭	72	118	148	158	182	200	257	305	232	255	267	268	268	273	266	270	264
学校栄養職員	376	323	290	278	249	222	162	112	65	43	31	24	24	19	19	10	8
合計	448	441	438	436	431	422	419	417	297	298	298	292	292	292	285	280	272

※令和６年度　本協議会調査より
他に栄養教諭の充て指導主事を平成２０年度から１名配置
権限移譲のため、平成２９年度から名古屋市を除く
国立、市町村採用は除く

各地区栄養教諭・学校栄養職員の配置状況



各教育事務所等	尾張	海部	知多	西三河	東三河	新城設楽	県立特別支援学校	夜間定時制高校	国立	県教委
栄養教諭	87	22	32	69	23	4	27	0	2	1
学校栄養職員	1	0	1	2	0	3	0	1	2	0

※令和６年度　本協議会調査より
市町村採用除く

Ⅵ　沿　革

年度	月	愛知県	国・文部科学省	本協議会	歴代会長
49	6	学校栄養職員を教育的専門職員として制度上明確化			
	11	97 名の学校栄養職員の県費負担職員に切り替え			
	12	第１回学校給食調理コンクール開催			
50	4			愛知県学校栄養職員研究協議会発足	初代 高木　節子
	11	第２回中日本学校給食研究協議会及び全国学校給食総合センター運営協議会を愛知県で開催			
51	4	学校給食に米飯導入			
52	8			全国夏季講習会開始・参加	
	3			機関紙「みのり」発刊 総合研究発表大会	
53	1	「米飯給食献立集」を作成し、全校に配布			２代 遠山　香代子
	3	「学校給食の管理と指導（三訂版）」発行			
54	11	児童生徒の家庭における栄養調査、食事状況等調査及び体位、体力調査実施			
	3	「学校給食の栄養指導」発行			
55	7	小中完全給食実施校で 100％米飯給食実施			
56	4	「主査」制度開始			
		「学校給食栄養基準量」改定			
	7	第 16 回全国高等学校給食協議会を開催			
	1			学校給食週間中、統一献立「カレーの日」を実施	
57	6		「日本学校健康会法」公布		
	7		特殊法人日本学校健康会設立		
58	3	「学校給食の栄養価早見表（改訂版）」発行	「新学校給食の手引き」刊行		３代 佐々木 禧慧子
59	4			校長会給食委員会合同研究参加	
	11	第 34 回愛知県学校給食大会開催（学校給食法制定 30 周年、愛知県学校給食総合センター設立 10 周年記念）			
	3	「学校給食の管理と指導（四訂版）」発行			
60	12		「日本体育・学校健康センター法」公布		
	3	「愛知県学校給食栄養基準量」改定	「学校給食の食事について」、「学校栄養職員の職務内容について」		
62	4	小中学校米飯給食実施校の回数が、週２回以上実施			
63	7		文部省の「学校給食課」と「学校保健課」が統合し、「学校健康教育課」が発足		
	3	「特殊教育諸学校における所用栄養量の基準」を算出			
元	11		学校給食 100 周年記念大会を開催		４代 山﨑　璋子
2	4	「主任専門員」誕生	新規学校栄養職員研修が始まる		
3	4		中堅学校栄養職員研修が始まる		
	3	「学校給食の管理と指導（五訂版）」発行			

年度	月	愛知県	国・文部科学省	本協議会	歴代会長
4	7		「学校給食指導の手引き」発行		
5	4	中学校学習指導要領改訂「個性を生かす教育」生活科の新設「技術・家庭科」男女共学、「食物」35 時間へ「栄養素の機能・正しい食品の選択」を重視			４代 山﨑　璋子
6	4	高等学校「家庭科」を男女必須へ			
	3		体育局長通知「学校給食の食事内容について」が出され、「学校給食所要栄養量の基準」が改定		
7	5			「20 周年記念誌」発行	
	11			愛知県学校栄養職員研究協議会文部大臣表彰	
8	4	教育長通知「学校給食の食事内容（標準食品構成表の改訂）について」			
		愛知県教育委員会保健体育課に専門員が配置される			
	7		腸管出血性大腸菌 0157 による食中毒の発生		
	8		体育局長通知「学校衛生の基準」の一部改正	「衛生管理面に配慮した献立の工夫－研究授業方式による衛生管理研究会－について」実施開始	
9	4	「学校給食における生野菜の取り扱いについて」通知	体育局長通知「学校給食における衛生管理の改善充実及び食中毒発生の防止について」の中で、「学校給食衛生管理の基準」が示される 「保健体育審議会」答申で、新たな免許制度の導入による学校栄養職員の資質向上策の必要性を指摘される		５代 吉見　成子
10	6		「『食』に関する指導の充実」について通知がなされ、学校栄養職員を特別非常勤講師に活用する取組の推進が図られる		
	12	「特別非常勤講師としての学校栄養職員の活用について」を通知	「小学校及び中学校学習指導要領」改訂		
	3	「学校給食の管理と指導（六訂版）」発行			
11	4	政府米を自主流通米(愛知県)に切り替え			
	5		「学校給食における食事内容について」改定		
13	4	パンの新規格４種類と白玉うどんが給食に登場			６代 住井　久子
	10	第 52 回全国学校給食研究協議大会を愛知県で開催			
	3		食生活に関する学習教材及び指導用解説書が作成される		
14	4		中学校学習指導要領改訂、「生きる力」の育成、「総合的な学習の時間」の新設、「中央教育審議会」答申で栄養教諭(仮称)制度などの創設を提言		
15	8	「食に関する指導者養成講座」を開催			
	9	給食にラーメン登場			
	3	「学校栄養職員執務記録簿について」を通知			
16	5		「学校教育法等の一部を改正する法律案」が成立栄養教諭が配置できることになる		

年度	月	愛知県	国・文部科学省	本協議会	歴代会長
17	4		栄養教諭制度の創設、施行		
	6		「食育基本法」成立		
	7		第一回食育推進会議開催		
	8	第46回全国栄養教諭・学校栄養職研究大会を愛知県で開催			
	3		食育推進基本計画策定		
18	4	任用替え試験により10名の栄養教諭の誕生			7代 林　紫
	5			愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会に名称変更	
	11	「あいち食育いきいきプラン」第1次計画の策定		愛知県食育推進会議関係団体となる	
	2			「30周年記念誌」発行	
	3		「食に関する指導の手引」発行		
19	7			食に関する指導研修会（自主研修会）開始	
	3		「学習指導要領」改定(学校における食育の推進が明記される)		
20	4	任用替え試験により67名の栄養教諭の誕生（市町村1名配置） 愛知県教育委員会健康学習課指導主事として栄養教諭が着任	小・中学校学習指導要領が公示 小中学校間共通の家庭科内容の体系化		
	3		「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」発行 「学校給食調理場における手洗いマニュアル」発行 「調理場における洗浄・消毒マニュアル Part1」発行 「食生活学習教材児童生徒用と指導者用」作成		
21	4	新規栄養教諭採用開始	学校給食法が昭和29年施行以来の大幅改正学校給食の主な目的が従来の「栄養改善」から「食育」に転換 「学校給食実施基準」全面改正 (摂取基準の改定) 「学校給食衛生管理基準」制定		
	6		「食育基本法」最終改正		
	3	「学校給食における食物アレルギー対応の手引き」を作成	「食に関する指導の手引（第一次改訂版）」発行 「調理場における洗浄・消毒マニュアルPart2」発行		
23	5	「あいち食育いきいきプラン2015」第2次計画の策定			
	2	「愛知県学校食育推進の手引」発行			
	3		「学校給食調理従事者研修マニュアル」発行		
24	4			愛知県栄養教諭学校栄養職員研究協議会運営検討委員会発足	
	12		新年度の学校給食における食物アレルギー等を有する児童生徒等への対応等について通知		
	3	「愛知県学校食育推進の手引《実践編》」発行 学校給食モニタリング事業の実施(放射性物資の有無及び量について)			

年度	月	愛知県	国・文部科学省	本協議会	歴代会長
25	4		学校給食実施基準の一部改正について施行		８代 杉浦　立子
	7		学校給食における窒息事故の防止について通知		
	10	就学児保護者向け朝食啓発資料「「早寝・早起き・朝ごはん」で生活リズムをつくろうリーフレット」発行			
	11	「学校食育資料(高校生向け資料)」発行			
	3		「学校給食施設設備の改善事例集」発行		
26	3	「学校給食の管理と指導（七訂版）」発行 「学校給食における食物アレルギー　ヒヤリハット事例集」発行	「学校給食における食物アレルギー対応指針」発行		
27	2	「学校における食物アレルギー対応の手引」発行			９代 杉野　由起子
	3			「40 周年記念誌」発行	
28	1	「学校における食物アレルギー対応保護者向けリーフレット」発行			10 代 林　紫
	3		「学校指導要領」改訂（学校教育活動全体を通した組織的・計画的な食育の推進が示される） 「栄養教諭を中核としたこれからの学校の食育～チーム学校で取り組む食育推進の PDCA～」発行		
29	11	「愛知県教員育成指標（栄養教諭）」の策定			11 代 古林　郁子
30	8		学校給食実施基準の一部改正について施行		
	1	「学校における食物アレルギー対応の手引～特別支援学校版～」発行			
	3		「食に関する指導の手引（第二次改訂版）」発行		
元 (31)	5			愛知県栄養教諭研究協議会に名称変更	12 代 小田　敦子
	3		「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン《令和元年度改訂》」発行 新型コロナウィルス感染症対策のため、３月２日より小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等において、全国一斉臨時休業になる。		
2	4	愛知県に緊急事態宣言が発令されたため、４月７日より小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等において、臨時休業が延長になる。			
	5	５月１８日から２４日まで学校再開準備期間となる。 ５月２５日から、分散登校・時差登校を基本として、学校を再開する。			
	6	６月１日から通常授業になる。			
	3	愛知県食育推進会議（会長：愛知県知事）において、「あいち食育いきいきプラン 2025～第４次愛知県食育推進計画～」が作成される。	「第４次食育推進基本計画」が食育推進会議（会長：農林水産大臣）で決定される。		

年度	月	愛知県	国・文部科学省	本協議会	歴代会長
3	4		学校給食実施基準の一部改正について施行		
	5				13 代 堀端　千鶴
	9			地区別研修会 （自主研修会）開始	
	3	「愛知県学校食育推進の手引ー第１次改訂版ー」発行			
4	6			第１７回食育推進全国大会 in あいちに出展	
	7			栄養教諭経験年数別研修会（自主研修会）開始	
	1		養護教諭及び栄養教諭の資質能力の向上に関する調査研究協力者会議　議論の取りまとめ」報告出される。		
5	4		健康日本２１（第三次）の運用開始		
	5				14 代 服部裕子
	12			資質能力向上研修 （自主研修会）開始	
6	8		「全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会」と「全国学校給食研究協議大会」が統合され、「全国学校給食・栄養教諭等研究協議大会」になる		
7	5				15 代 毛利敦子

Ⅶ　令和７年度　愛知県栄養教諭研究協議会役員・理事名簿

会　　長	毛　利　敦　子	一宮市立大徳小学校
副 会 長	下　郷　加奈子	阿久比町立英比小学校(阿久比町立学校給食センター)
〃	戸　本　綾　子	春日井市立篠木小学校(春日井市東部第２調理場)
書　　記	二　村　　翠	刈谷市立小垣江小学校（刈谷市第一学校給食センター）
〃	神　谷　真　奈	豊橋市立東部中学校（豊橋市東部学校給食センター）
会　　計	佐々木　幸　香	犬山市立犬山南小学校
県代表者	丸　山　真奈美	西尾市立鶴城小学校
常任理事	杉　野　由起子	瀬戸市立にじの丘小学校

【地 区 理 事】

愛日西部	佐　藤　綾　香	小牧市立小木小学校(小牧市南部学校給食センター)
愛日中部	水　野　盛　子	北名古屋市立師勝西小学校（北名古屋市給食センター）
愛日東部	古　田　淑　子	長久手市立南小学校（長久手市立長久手給食センター）
中　　島	木　村　睦　子	一宮市立木曽川中学校
丹　　葉	五　島　すみれ	犬山市立犬山中学校
海　　部	小　川　晴　香	弥富市立日の出小学校
知　　多	中　岡　友　恵	大府市立大府北中学校
〃	氏　原　舞　美	知多市立佐布里小学校（知多市立八幡給食センター）
西 三 河	梅　村　綾　子	岡崎市立竜美丘小学校（岡崎市東部学校給食センター）
〃	牧　　ひとみ	高浜市立高浜中学校
〃	伊　藤　　学	西尾市立吉田小学校（西尾市学校給食センター）
豊田みよし	齋　藤　有紀奈	豊田市立豊南中学校（豊田市平和給食センター）
東 三 河	磯　部　里　美	蒲郡市立竹島小学校（蒲郡市学校給食センター）
〃	小　菅　理　恵	豊橋市立幸小学校（豊橋市曙学校給食センター）
特別支援	山　﨑　絵里奈	愛知県立小牧特別支援学校